

6. 次の文章の(51)から(55)に入る適語を、各語群より選び、記号で答えなさい。

初めて伊勢参宮をされた天皇は(51)天皇で、それまでの天皇はどなたも参宮されていない。代わりに多気郡に(52)が置かれていた。但し、(53)天皇は式年遷宮の状況を見るために参宮をされた可能性があるが、歴史書にその記載はない。(51)天皇は、(54)回伊勢参宮をされ、御師邸の(55)邸に宿泊されたこともあった。

- | | | | |
|---------------|----------|---------|-------------|
| (51) (イ) 昭和 | (ロ) 聖武 | (ハ) 大正 | (ニ) 明治 |
| (52) (イ) 国府 | (ロ) 郡家 | (ハ) 離宮 | (ニ) 斎宮 |
| (53) (イ) 推古 | (ロ) 持統 | (ハ) 元明 | (ニ) 聖武 |
| (54) (イ) 1 | (ロ) 3 | (ハ) 4 | (ニ) 6 |
| (55) (イ) 上部大夫 | (ロ) 春木大夫 | (ハ) 龍大夫 | (ニ) 福島御塩焼大夫 |

7. 次の設問を読んで、それぞれ正しいものを選んで、記号で答えなさい。

(56) 天皇が参宮されることのなかった室町時代に、将軍で初めて伊勢参宮をした人は誰ですか。

- (イ) 足利尊氏 (ロ) 足利義政 (ハ) 足利義満 (ニ) 足利義教

(57) 神宮の神官が初めて内宮近くに建立した寺は、何寺ですか。

- (イ) 蓮華寺 (ロ) 蓮台寺 (ハ) 釈尊寺 (ニ) 金剛證寺

(58) 倭町にある尾部古墳は誰の墓といわれていますか。

- (イ) 倭建命 (ロ) 度会小事 (ハ) 倭姫命 (ニ) 天村雲命

(59) 外宮の南西にある天岩戸とされたものは何ですか。

- (イ) 竪穴式石室 (ロ) 横穴式石室 (ハ) 自然の岩穴 (ニ) 鍾乳洞

(60) 東大寺の大仏を再興する折に、参宮した俊乗坊重源は度会氏の氏寺で、大般若經を転読しました。この寺は、何という寺ですか。

- (イ) 世義寺 (ロ) 中山寺 (ハ) 光明寺 (ニ) 常明寺

- (61) わが国、最古の紙幣といわれたものは、何ですか。
(イ) 切手 (ロ) 葉書 (ハ) 手形 (ニ) 羽書
- (62) 神宮御師の檀家となっていたのは、南はどこまでですか
(イ) 沖縄県 (ロ) 鹿児島県 (ハ) 宮崎県 (ニ) 熊本県
- (63) 中村左洲は何の絵で著名でしたか。
(イ) 鯉 (ロ) 鮭 (ハ) 鯖 (ニ) 鯛
- (64) 江戸時代、関東の人が主に歩いた街道は何と呼ばれていましたか。
(イ) 伊勢本街道 (ロ) 初瀬街道 (ハ) 江戸街道 (ニ) 伊勢街道
- (65) 幕末に吉田松陰が訪問した御師で国学者は誰ですか。
(イ) 荒木田久老 (ロ) 足代弘訓 (ハ) 御巫清直 (ニ) 蓬萊尚賢
- (66) 伊勢の町で多くの家の入り口に飾られている「蘇民将来子孫之門」と記す門号札に関わる神社はどこですか。
(イ) 宇治神社 (ロ) 須原大社 (ハ) 松下神社 (ニ) 二見興玉神社

8. 次の文章の（ ）に入る適語を、各語群より選び、記号で答えなさい。

- (67) 銅鐸片が採集された遺跡は（ ）遺跡である。
(イ) 隠岡 (ロ) ママ田 (ハ) 宮後 (ニ) 桶子
- (68) 大湊で造られた鉄板張りの船は（ ）丸と呼ばれた。
(イ) 神路 (ロ) 日本 (ハ) 伊勢 (ニ) 五十鈴
- (69) 牛谷坂の改修に多額の費用を出したのは（ ）である。
(イ) 太田小三郎 (ロ) おこん (ハ) りと (ニ) 尾崎行雄
- (70) 外宮摂社の田上大水神社は（ ）の車塚の上に鎮座する。
(イ) 方墳 (ロ) 円墳 (ハ) 前方後円墳 (ニ) 前方後方墳

9. 次の事項に最も関わる町を各語群より選び、記号で答えなさい。

(71) 昼河古墳群

(イ) 朝熊町 (ロ) 楠部町 (ハ) 鹿海町 (ニ) 黒瀬町

(72) 隠岡遺跡

(イ) 倭町 (ロ) 古市町 (ハ) 岡本町 (ニ) 楠部町

(73) 山田奉行所

(イ) 朝熊町 (ロ) 磯町 (ハ) 中之町 (ニ) 御菌町

(74) 平家

(イ) 村松町 (ロ) 矢持町 (ハ) 朝熊町 (ニ) 一色町

(75) 尾崎行雄

(イ) 岡本町 (ロ) 常磐町 (ハ) 川端町 (ニ) 宮町

10. 次の文章の () に入る適語を、各語群より選び、記号で答えなさい。

近世の古市は、外宮と内宮を結ぶ参宮街道上にあつて、遊廓、芝居、見世物などで賑わう伊勢随一の歓楽街であつたが、明治以降の近代化のなか、古市界限は衰退した。そんななか、唯一残る江戸時代から続く(76)は歴史の生き証人的存在といえる。古市周辺が繁華の地であつたころ、(77)、杉本屋、柏屋が著名な大楼であつた。寛政8年、妓楼の油屋で起こった刃傷事件、いわゆる油屋騒動に関係するお紺の墓は(78)にある。古市界限は庶民娯楽の雄たる見世物の興行場所であり、間の山にいた女性大道芸人は(79)と呼ばれ、また、(80)、トラ、ゾウなどの見世物もこの盛り場で興行された。

(76) (イ) 角屋 (ロ) 麻吉 (ハ) 大安 (ニ) 油屋

(77) (イ) 千束屋 (ロ) 紅葉屋 (ハ) 越後屋 (ニ) 備前屋

(78) (イ) 寂照寺 (ロ) 養草寺 (ハ) 大林寺 (ニ) 玄忠寺

(79) (イ) お鶴・お玉 (ロ) お杉・お鶴 (ハ) お鶴・お亀 (ニ) お杉・お玉

(80) (イ) キリン (ロ) サイ (ハ) ラクダ (ニ) ライオン